

ナラ枯れ予防のための「シート巻」の施工方法

シート巻は簡単で誰にでもできるが、やり方を間違えると木が枯れてしまうので、施工木の選定や施工はこのマニュアルをよく読んで忠実にすること！



- ・ ナラ枯れ予防のためカシノナガキクイムシの穿入を防ぐのが目的。
- ・ カシノナガキクイムシが発生する前の5月中旬までに施工。
- ・ **カシノナガキクイムシが前年に入った木(穿入孔があり木屑が出た痕がある)には施工しない**(羽化した新成虫が再穿入して枯れてしまう)。
- ・ 前年の穿入痕があり、樹液が出た跡がある木は枯れない木なので施工の必要がない。



穿入孔(直径1.5mm)

〔用意するもの〕

- ・ シート(農業用マルチや梱包用ストレッチフィルムなど何でも良い、幅は1m程度が使いよい)
- ・ ハサミまたはカッター
- ・ ガンタッカーまたはガムテープと画鋏
- ・ スコップや鍬など



樹液の出た跡



①シートは**下から**巻き始める。裾は根張りをカバーするため十分な余裕を持たせる。



②途中、適宜ガンタッカーまたはガムテープなどで固定しながら上方へ巻いていく。



③上は手の届く範囲までで良い。



④最後は、シートの端と上端の一周をぐるりとガンタッカーで打つか、ガムテープを貼る。



上端は虫が入らないよう、髷があれば凹んだ場所にガンタッカーを打つ。ガムテープの場合は画鋏で止める。



根際はカシノナガキクイムシが最も入る場所なので、シートの上から土をかぶせるなどして防ぐ**(重要!)**。